

2020年2月4日

各 位

ダイダン株式会社

## 再生医療製品を開発するバイオベンチャー企業 株式会社ガイアバイオメディシンへの出資のお知らせ

ダイダン株式会社（本店：大阪市西区、代表取締役社長：藤澤一郎）は、難治性・進行がん治療用の全く新しい細胞製剤（再生医療等製品）を開発している九州大学発のベンチャー企業である株式会社ガイアバイオメディシン（英語表記: **GAIA BioMedicine Inc.**、本社：福岡市、代表取締役：倉森和幸、以下「GAIA社」）へ出資したことをお知らせいたします。

GAIA社は、ダイダンおよびベンチャーキャピタルなど6社より資金調達し、最優先の開発品であるGAIA-102（※1）の治験用製剤製造 ならびに 非臨床試験の完遂、そして2020年度内に予定される治験開始までの準備を促進しています。

ダイダンは、得意の環境制御技術をもとに再生医療分野に関する技術開発や新規サービスの立ち上げに取り組んでいます。この度のGAIA社への出資により、既開発品であるエアバリアブース（※2）やオールインワンCPユニット（※3）を用い、がん治療向け細胞製剤に最適な生産環境の構築を推進してまいります。さらに生産施設の運用管理のノウハウを獲得し、建築設備の設計・施工の範囲を超え、細胞製剤製造に関するサービスへの事業拡大を目指してまいります。

### ※1 GAIA-102

九州大学大学院薬学研究院・米満吉和教授の研究グループが発見・開発した、natural killer (NK) 細胞に類似した新しいフェノタイプの他家細胞製剤。特に腫瘍塊を形成した固形がんに対し、極めて高い細胞傷害活性を示す。CAR-T細胞と異なり遺伝子改変を必要とせず、広汎な腫瘍に対し、がん細胞選択的かつ活性化受容体依存的な抗腫瘍活性を示すという特徴を持つ。

現在、九州大学とGAIA社によるGAIA-102の共同開発は、AMED（国立研究開発法人日本医療研究開発機構）の革新的医療技術開発推進プロジェクトとして支援されている。

### ※2 エアバリアブース

再生・細胞医療向けの半開放式のクリーンブースで、開口部からブース外へ方向の気流を形成し、汚染の原因となる異物が作業環境であるブース内に侵入するのを防ぎ、細胞の安全性を確保する。

※3 オールインワン CP ユニット

エアバリアブースをコア作業スペースとし、細胞培養・加工に必要な機能をすべて備えたクリーンユニット。短工期、省コストで細胞培養・加工施設の構築が可能。

■お問い合わせ先

ダイダン株式会社 イノベーション本部 再生医療推進部 吉田一也

E-mail: yoshidakazuya@daidan.co.jp TEL : 044-276-5010

〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-22

ライフイノベーションセンターR407

以上